

## 2024年度 編入学試験 出題の意図

科目	出題の意図
<b>専門基礎</b> (建築学科)	大問〔Ⅰ〕では、受験生が建築環境系の基礎的知識をどの程度有しているかを問う。同様に、大問〔Ⅱ〕では、建築計画系の基礎的知識を、大問〔Ⅲ〕は建築構造系の基礎的知識を問う。編入試験であることを踏まえ、大問〔Ⅰ〕～大問〔Ⅲ〕いずれも、摂南大学工学部建築学科の1年次および2年次の専門必修科目における期末試験相当レベルである。入学後に建築分野の専門科目授業についていけるだけの基礎知識が有しているかを問う。
<b>専門基礎</b> (都市環境工学科)	入学後の授業に必要な知識を有しているかどうかを調べるために、「構造力学」、「測量学」、「地盤力学」、「水理学」に関する問題を出題している。大問1では、静定梁の反力・断面力算出の基礎的知識の有無を問うている。大問2では、測量学における基礎的な測角手法を用いて、角度を算出できるかを問うている。大問3では、地盤力学全般の基礎的知識および土を構成する諸量の算出について問うている。大問4では、水理学全般の基礎知識となるベルヌーイの定理を用いて、諸量を算出できるかを問うている。
<b>専門基礎</b> (電気電子工学科)	I 直流回路における合成抵抗、電圧、電力を求める問題 II コンデンサの電極間の電界の強さ、蓄えられるエネルギー、電位差が変化した際の電界強度および変位電流を求める問題  2問ともに、電気工学分野の専門基礎における基本的な知識および理解を問う問題とした。